



上福岡駅西口へのエレベーター設置について、住民要望が強いが設置できないか。東武鉄道は、自己所有地でなければ設置しない方針で、それ以外は維持管理も含めて市が実施主体となることの基本姿勢です。なお、今後も東武鉄道と協議してまいります。

■国道二五号線拡幅

県委託金（九、〇〇〇万円）の国道二五号線拡幅（大井東台（坂上）道路拡幅）事業形態は、どのようなものか。

国道から東台小学校予定地に入る信号機と、手前の信号機のない西台に向かう道路について、十字路としての交差点にすることを検討しています。

■都市計画税条例一部改正

郵政民営化関係の、都市計画税条例一部改正による変更内容は、

納付金制度として固定資産税相当額を納付されていたものが、課税に変更され、新たに都市計画税を四五万円程度課税します。



■国道二五号線の歩道整備

交通渋滞対策は、

現在の変形の交差点を十字路として、信号の制動など整備するよう調整しています。

■プール補助券

富士見市との交渉はできなかつたのか。

補助券制度によるプール利用をお願いしましたが、通常どおりの利用でという回答でありました。

■緑ヶ丘・亀居地区まちづくり事業

事業の戦略的な考えは、地権者と、準備委員会や勉強会等を行なってきまして、今後は想定換地を行ない、合意を目指します。

■水道料金の統合化

料金を統合化することによって、減免・免税世帯等の救済措置は、

大井地区の同世帯については、統合化により現在の二〇〇三〇立方メートルまでの基本水量が減免対応となり、サービスは高くなります。

■詐欺防止策

ふじみ野市職員を装った詐欺が横行している。防止策は、

より一層の啓蒙・啓発活動を続けていきます。

■コミュニティセンター建設事業

入札不調が続いているが、このような事業を執行する今後の留意点は、

市場価格を敏感に反映できるようなシステム構築をします。

委員会質疑

補正予算・条例など慎重に審議しました



外国人児童生徒受入促進事業、問題を抱える子ども等の自立支援事業と、教育にかかわる事業予算があるが、限られた期間や人数で現場はどうなのか。

■老人保健特別会計

平成十八年度決算を踏まえて、医療費が減額になったための予算だが、その原因は何か。

冬場が温暖だったことに加え、税制度や医療制度の改革などで、受診回数が減少したため、医療費の伸びが抑制されました。

■ふじみ野市立デイサービスセンター条例の一部改正

予防介護開始による影響は、

認定審査結果に不本意な方は、区分変更申請を出されています。

■生徒指導推進協力員活用調査研究事業

この研究事業は上野台小学校が行なうことになったが、その事業内容と、だれを派遣するのか。

県の委託事業であり、児童生徒の問題行動の早期発見、未然防止のあり方などについて、元校長などの経験豊富な方に調査研究をしていただく事業です。

ほかに理科支援員等配置

提出議案と審議結果

■平成19年度補正予算

- 平成19年度補正予算
一般会計
老人保健特別会計
条例の一部改正
議会事務局設置条例
都市計画税条例
デイサービスセンター条例
大井総合福祉センター条例
道路占用料徴収条例及び法定外公共物管理条例
水道事業給水条例
その他
彩の国さいたま人づくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について
東台小学校校舎・屋内運動場工事請負契約の締結
建築・機械設備
電気設備
道路線の認定（4件）
協議
ふじみ野市の公の施設を三芳町の住民の利用に供させることに関する
意見書
全国一律最低賃金制度の確立及び最低賃金の引き上げを求める庶民大増税に反対する
年金加入記録問題の早期解決を求める
小児救急医療体制の整備を早急に求める
乳幼児医療費無料制度を国の制度として確立することを求める
以上、可決
人事
人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
同意

市議会議員選挙後、初めての市議会が5月18日（臨時会）に開催され、県議会議員選挙をめぐる市議の公職選挙法違反に対し、市議会として下記の声明文を公表しました。

声明文

平成19年4月8日執行された統一地方選の埼玉県議選において、西5区から当選した県議会議員の公職選挙法違反容疑の事件に関連して、ふじみ野市議会議員が同法違反容疑で罰金50万円の略式命令が出されたことは、誠に遺憾であり、有権者並びに市民に大きなショックと不安を与えた。

公正に選挙された議員の職責遂行は民主政治の発展と地方自治伸展の骨幹をなすものである。それゆえに、議員は平生の心がけとして個人の利害を超越して、言動や行動を慎み市民に疑念を抱かれないよう、誠心誠意市民に奉仕し、市民の負託に応えなければならない。今回の事件は、合併後新市の本格的なまちづくりに向けての矢先の出来事であり、ふじみ野市議会に対する市民の信頼を著しく損ねたものである。

ふじみ野市議会としては、今後このような不祥事が起きないように議員一人ひとりが政治倫理に努め、全力を挙げて信頼回復に鋭意努力するものである。

平成19年5月18日

ふじみ野市議会